



塔村俊介 議員

部活動の存続についての考えは

町長 将来的には集約もしなくては
いけない



小中高での不登校への支援、町として責任を持ついじめ防止対策について問う。

答 安部教育長

不登校は中学校5名、不登校傾向の児童生徒は小学校4名、中学校1名で、県内平均より少ない状況。町の責務はいじめ防止対策推進法が示す基本理念にのっとり、啓発学校への指導、支援に取り組んでいくことと考えている。

問 義務教育終了後、進学した子どもについて、町は責任をもつべきか。

答 安部教育長

当然あると考えている。私もそう考える。悩んでいる子ども、保護者はいらる。学校だけの責任ではなく、町として責任をもってほしい。

問 T、研究開発型企業の誘致のため、合宿を実施しているが、回線が切断されるといふ感想が出ている。奥出雲町の高速ネット環境の現状は。

答 町のネットサービスは約2千回線契約があり、

高速化に対するニーズも高まっている。都度回線の増強を行っている。

問 フードハブという言葉も出てきているが、農家、食産業の育成についての考えは。

答 舟木農業振興課長

本町では農産物直売所があると考えている。仁多特産市の売上は1億円を突破し、より活性化させなければと考える。

問 美味しい奥出雲の野菜を地元へ供給でき、使っていることをPRする仕組みが必要ではないか。起業・創業に対する支援について問う。

答 若もん未来会議、奥出雲仕事塾を今年度も実施している。産業創出支援事業やまち・ひと・しごとセンターにより、積極的に支援していく。

問 実際に起業に至ったのは何名か。

答 杠地域振興課長

実績は0である。

問 制度、補助金は整ってきたが、相談できる、フォローすることが大事。大変重要なことであり、

継ぎ目のない取り組みを、子育て世代を軸とした民家改修、住宅用地の整備についての考えは。

答 親元、三世代同居などの支援を行っている。



公社整備の宅地(横田)

問 既存の住宅用地はほぼ完売で、場所がない情報がないという状況だが、整備が必要ではないか。

答 ニーズがあれば必要と考える。建設業の方と連携してやっていきたい。

問 サイクリングターミナル食堂のリニューアル具体策は。

答 炊きたての美味しい仁多米を楽しめるレストランにしていきたい。

問 三成駅エリアの活性化の考えは。

答 旧ボプラ店舗の活用は大変重要な位置づけになる。利用方法について早急に検討したい。

問 少子化の中、中学校では1クラスも現実になってきた。今後の部活動の存続の考えは。

答 安部教育長

特に仁多中1年生女子は13名と極端に少なく、ホッケー、剣道部では単独チームが組めない。将来的には部活動の集約もしてはいけない。

問 バレーなど他の部でも起こりうる。部活の数を減らしていく考えか。

答 安部教育長

合同チームということもできるが、難しいこともあると思う。

問 小学校からスポーツを始める子もいる。数を減らすのは簡単な話だが、それ以外の方法もある。ビジョンを示すべきだ。

答 安部教育長

町長